

## &lt;別紙1&gt;

## 第三者評価結果報告書

## ①第三者評価機関名

よこはま地域福祉研究センター

## ②施設・事業所情報

名称：スターチャイルド《高津溝口ナーサリー》	種別：児童分野 認可保育所
代表者氏名：上原真弓	定員（利用人数）： 60名
所在地： 川崎市高津区溝口4-15-18	
TEL：044-850-2700	ホームページ：http://www.starchild.jp
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2018年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：ヒューマンスターチャイルド株式会社	
職員数	常勤職員： 15 名 非常勤職員 10 名
専門職員	（専門職の名称）
	施設長 1名 栄養士 2名
	保育士 18名 調理員 3名
	事務員 1名
施設・設備の概要	（居室数） （設備等）
	保育室 6室 園庭、調理室、調乳室、沐浴室、乳児トイシ、幼児トイシ、多機能トイシ、事務室兼医務室、保育士休憩室など

## ③理念・基本方針

【保育理念】スターチャイルドは、子どもの無限の可能性を信じ、意欲を引き出し、伸ばす保育を実践します。

【保育目標・方針】

- (1) よく考え、心身ともにたくまし子（自立と挑戦を支援します）
- (2) 個性豊かな子（個性を尊重し長所を伸ばします）
- (3) やさしさと思いやりのある子（社会性＝人と関わる力を身につけます）

## ④施設・事業所の特徴的な取組

園舎は「和」をテーマとしていて、トーンを落とした木材を多く使い天井は和室のように舟形天井となっていて、さらに床の間、躰り口のあるお茶室を設え、子どもたちにお茶の飲み方や畳の歩き方、襖の開け閉めなどを体験する機会を設けています。

- ・天気の良い日は、園庭で思い切り遊ぶことができます。
- ・保育園の近くには、国木田独歩碑のある高津区図書館があり、自然を感じながら散歩できる二か領用水や南公園、北公園などがあります。
- ・英語教室は、外国人講師と他国の言葉や文化に触れ、体操教室は身体能力を高める活動を行っています。
- ・法人のプライバシーマーク取得に伴い「プライバシーマークガイドライン」を学び、職員全員が「教育確認テスト」を行い、個人情報保護法を認識するよう取り組んでいます。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2020年5月7日（契約日）～ 2021年2月10日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	回（ 年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

◆子どもの権利を尊重した保育を実施しています

施設長は、常に言葉かけは「言葉は投げつけずに手渡しで」と職員に伝え、職員は子どもの人権を尊重して否定語を使わず肯定語を使うよう心がけています。また、日頃の保育では、具体的な事例をあげて子どもが納得できる丁寧な対応をするよう職員に周知し、前向きに取り組んでいます。川崎市の「子ども権利条例」の冊子を職員の目のつく場所に掲示し、全国保育士会の「人権擁護のためのセルフチェックリスト」を保育士は頻繁に確認するようにしています。このような職員の子どもの人権を尊重する日々の保育から、子どもたちにも、相手を傷つけないとげとげした言葉を使わず、優しい言葉を使うよう伝え、子ども自身が他の子どもを大切に、尊重することの大切さを伝える保育を実施しています。

◆リスク管理に取組み、安全な福祉サービスの提供に努めています

園は、子どもと職員の安全を考えて様々な取組を行っています。日々の保育のヒヤリハット報告書は月毎に集計し、原因や時間帯、場面等の傾向を分析して改善につなげています。けがや病気の発生時に職員が速やかに対応できるよう救急対応などを文書化した「緊急時対応カード」を用いて緊急時のロールプレイングを実施しています。また、毎月の避難訓練は、担当職員以外の職員には知らせず、抜き打ちで行い、午睡中・着替え中・食事中等あえて避難しづらい状況で実施しています。更に、施設長は近隣園園長と誘い合い、地域の大規模防災訓練に参加するなどの取組みから安心安全な福祉サービスの提供に努めています。

◆保育の質・専門性の向上をめざして取り組んでいます

施設長は、日々の保育の中で子どもの気持ちの把握に努め、降園時には満足して笑顔で帰れるよう心掛け、職員にも伝えていきます。その為に必要な保育の質の向上や職員のキャリアアップを図るため、職員の意見を聞きながら園内研修を企画しています。これまで、禁止用語と言い換えの理解、戸外遊び・室内遊びの検討、嘔吐処理、発達支援・感覚の視点の理解など保育の質や専門性の向上につなげるテーマを取り上げて実施しました。この姿勢が伝わり、職員は、研修以外でもお互いに日々の保育で学んだことや疑問、相談を午睡時などのわずかな時間を活用してグループ毎に話し合い、学び合い、保育に活用するよう努めています。

◇改善を求められる点

◆個々の職員が園の一員であることを再認識し、課題や関わり方を理解・共有・実践する工夫が望まれます

施設長は、地域の子育て支援に対して強い思いを持って取り組んでいます。移動動物園等の様々なボランティアを積極的に探して受け入れ、企画し、地域の親子や近隣の小規模園の園児、町内会の方を園に呼んでいます。町内会の祭りの準備に手伝いで参加したり、子育て家庭の情報を得たり、非常時の協力関係を得るよう努力しています。ただし、第三者評価の職員アンケートでは、「経営状況の把握」や「地域との交流、地域貢献」の項で「分からない」と回答した職員が散見されました。施設長の活動や意図が他の職

員に十分伝わっていないと思われます。今後は、園として力を入れて取り組んでいる地域交流について更に上のレベルを目指すためにも、職員が課題や関わり方を理解して取り組む工夫が望まれます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

スターチャイルド《高津溝口ナーサリー》は開園3年目を迎え、初めての第三者評価となりました。更に保育の充実と、より質の高い保育を目指すために課題を受け止め向き合っていこうという思いがございました。

第三者評価の受審は職員一同大変励みになりました。併せて貴重なご意見を頂いた点につきましては真摯に受け止め、職員全員で共有致します。

より一層努力を重ね、保育の質の向上のため研鑽を続けてまいります。

最後に、コロナ禍ご多忙にもかかわらずアンケート等の調査にご協力いただいた保護者の皆様、第三者評価の受審にあたりご尽力下さいました評価機関の皆様に心より感謝を申し上げます。誠にありがとうございました。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり